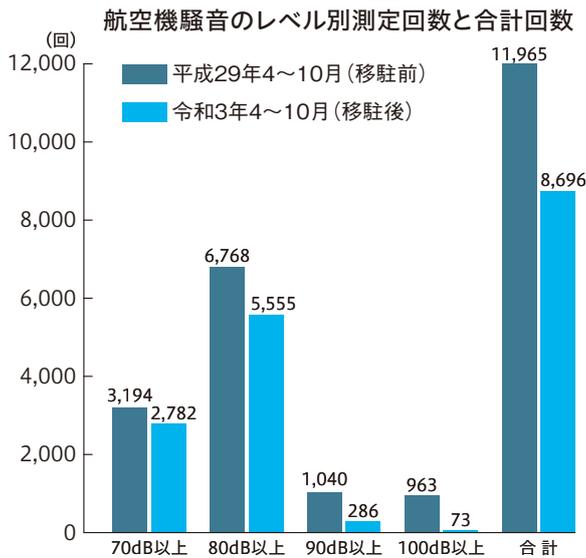


## 厚木基地をめぐる動向

### 空母艦載機移駐前後の騒音状況の変化について

市民に甚大な騒音被害をもたらしてきた空母艦載機（F/A18スーパーホーネットなどの固定翼機）については、平成30年3月までに岩国基地（山口県）へ移駐しました。

市が実施している滑走路北約1.6km地点の騒音測定（70dB以上、5秒以上の継続音など）において、移駐前の平成29年4～10月と移駐後の令和3年4～10月のレベル別測定回数を比較すると、各騒音レベルで測定回数が増加しており、特に、100dB以上



音の大きさ (dB: デシベル) の目安

140dB	最大可聴値 (疼痛音)
120dB	近傍で聴くジェット機の離陸音
110dB	車のクラクション
100dB	電車のガード下
90dB	パチンコ店内
80dB	幹線道路沿い、航空機の機内
70dB	在来鉄道の車内、セミの声
60dB	通常の会話、銀行の窓口周辺

は963回から73回となり890回（約92%）の大幅な減となりました。一方で70dB以上は3,194回から2,782回となり412回（約13%）の減、80dB以上は6,768回から5,555回となり1,213回（約18%）の減にとどまっています。（グラフ参照）

100dB以上の甚大な騒音の大幅な減少は、大和市基地対策協議会をはじめ神奈川県や周辺各市、関係機関等の長年にわたる空母艦載機の移駐実現に向けた取り組みの大きな成果と言えます。

しかしながら、市内では現在もへ

リコプターや他基地から時折飛来する米軍ジェット戦闘機などの騒音が発生し、市民の日常生活に影響を及ぼしていることから、市では、引き続き厚木基地周辺の飛行状況や騒音の実態把握に努めるとともに、今後も国や米軍等に対し、市民が被る騒音被害の軽減を求めていきます。



市内上空で周回飛行を繰り返すヘリコプター

### 米陸軍部隊のCBRN訓練について

今年2月から厚木基地で初めて実施された米本土の陸軍部隊による化学・生物・放射線および核（CBRN）訓練について、9月30日、国から同日までに終了したとの情報提供がありました。国からは、危険物などの持ち込みはなく、基地周辺に影響を与えるような騒音等は発生しない

との説明が事前に行われましたが、実際に訓練期間中は、厚木基地内に多数の車両が駐車されていたものの、騒音や振動、煙の発生など周辺環境への影響は見受けられませんでした。市では、厚木基地の運用に伴う新たな市民負担の増加は認められないことから、今後も厚木基地の運用などを注視するとともに、国に対し、基地に起因する市民負担の解消と、それまでの間の多大な負担に見合った補助・支援を求めていきます。



厚木基地内でのCBRN訓練のようす

☎ 市役所基地対策課基地対策係  
5316  
(260)5310 FAX (260)